

cDNA ライブラリー, ラット胚性線維芽細胞

商品コード	02-717
容量	500 ng
保存	-20℃
製品説明	本製品は、ラット胚性線維芽細胞由来の poly(A)⁺ RNA からリンカープライマー法（文献 1～3）により大阪大学微生物病研究所の野島博教授が作製したプラスミド型 cDNA ライブラリーです。制限酵素 <i>Not</i>I 認識部位を有する oligo(dT)18 リンカープライマーと <i>Bam</i> H I(<i>Bgl</i> II)-<i>Sma</i>I アダプターを用いて、インサートは一方方向にクローニングされています。 cDNAライブラリーに使用しているベクターpAP3 neo はSV40プロモーターを持っているので哺乳類細胞で遺伝子発現が可能です。ssDNA合成に必要な f 1 ファージのf1 ori, 大腸菌で増殖するためのpUCプラスミドOri, RNA合成に必要なT7およびT3ファージのプロモーターを含んでいます（図）。詳細はGenBank Accession No. AB003468 をご参照下さい。
濃度	40 ng/μl
バッファー	10 mM Tris-HCl-1mM EDTA (pH 7.5)
品質	～6200 万個の独立コロニー。インサートの長さは平均 1 kb 以上。
アプリケーション	既知の遺伝子(cDNA)のプライマーを作成して、PCR 法によってライブラリーから目的遺伝子を増幅し、適当なベクターにクローニングして、タンパク質の多量生産、プローブなどの作成に利用する。（標準条件； 10～100 ng の cDNA をテンプレートに用いて PCR で 35 サイクル増幅する。対象とする mRNA の発現量に応じてテンプレート量やサイクル数を加減する。）
文献	1. Kobori M, Ikeda Y, Nara H, Kumegawa M, Nojima H and Kawashima H “Large scale isolation of osteoclast-specific genes by an improved method involving the preparation of a subtracted cDNA library.” <i>Genes Cells</i> 3, 459-475 (1998) PMID: 9753427 2. 野島 博：バイオマニュアルシリーズ 2、遺伝子ライブラリーの作製法（野島博編）、p.79～94 羊土社、東京、1994. 3. 野島 博：「日本生化学会編 基礎生化学実験法 第 4 巻 核酸・遺伝子実験Ⅱ.応用編」 「第 2 章 ライブラリーの作製とクローニング」東京化学同人(2001) P31～P63 4. Sambrook,J. & Russell, DW. <i>Molecular Cloning</i> Chapter 11 "Preparation of cDNA libraries and gene identification." CSHL Press (2001)
特記事項	* 本ライブラリーは購入者が自分の研究のみに使用できます。増幅して第 3 者に分与することは禁止されています。 * 関連商品；各種ヒト組織特異的及びモデル生物の cDNA ライブラリー (HP 参照)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 02-717 cDNA ライブラリー, ラット胚性線維芽細胞

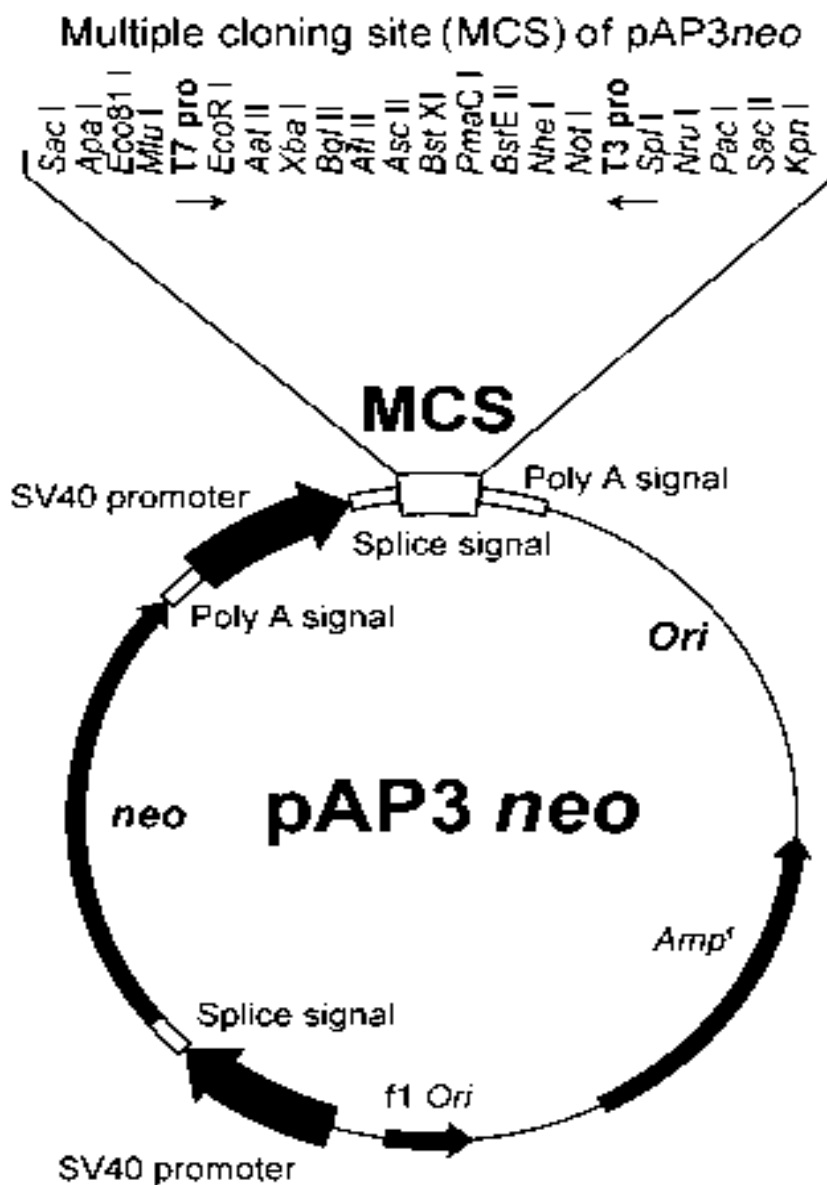


図 プラズミド pAP3 neo の構造およびクローニング部位.

Ori は大腸菌でこのプラズミドが増殖するのに必要な複製起点の配列である。